

第2回 野川流域連絡会議事録

開催日時 平成18年11月22日(木) 18時～20時45分
開催場所 調布市文化会館「たづくり」 12階大会議室



第2回 野川流域連絡会 会議風景

平成18年11月22日(木)の18時から、調布市文化会館「たづくり」大会議室において、第3期第2回野川流域連絡会が開催されました。

会議には、公募の都民委員22名、団体委員8名、および行政委員9名、合計39名が出席しました。

会議では、分科会の設置と分科会の活動状況について、河川整備計画部会(仮称)および研究部会(仮称)の設置について、4班に別れての意見交換などが議論されました。

■分科会の設置について

第3期野川流域連絡会は、水環境分科会と生きもの分科会の2つの分科会で活動することが承認されました。

■分科会の活動状況について

〈水環境分科会〉

- ・ 第3期は検討テーマごとにプロジェクトを立ち上げて活動する
- ・ 水量の確保を目的として、用水路再生、雨水活用、地下水・湧水、流量・河川敷の4つのプロジェクトを設置する
- ・ 普及啓発を目的として、野川の通信簿、野川の日、イベントカレンダーの3つのプロジェクトを設置する
- ・ 地下水・湧水プロジェクトは研究部会(仮称)と、流量・河川敷プロジェクトは河川整備計画部会(仮称)と協力して活動を進めていく

〈生きもの分科会〉

- ・ 平成18年8月12日に流連委員27名が参加して生きもの観察会を実施した
- ・ 生きもの観察会に併せて野川公園内の「ほたる川」「ひょうたん川」の補修作業をした
- ・ 生きもの観察会は定点で継続的に実施して連続データに残していく
- ・ 「ほたる川」「ひょうたん川」は定期的な補修作業が必要となる

- ・ 野川ルールについては、完成・公開・活用と段階を踏んで進めていく

■ 河川整備計画部会（仮称）の設置について

野川河川整備計画には、野川ならではの施策として「みんなで決める納得流量」、「市民とつくる河川情報図」があり、これらの施策に取り組むため、分科会とは別に河川整備計画部会（仮称）の設置が提案され、承認されました。

■ 研究部会（仮称）の設置について

野川の水涸れ等の調査を進めるため、分科会とは別に大学等の研究機関との連携を基本にした研究部会（仮称）の設置が提案され、承認されました。

■ 意見交換

出席した委員が4班に別れて、それぞれのテーマについて意見交換を行いました。

〈流域自治体と連携した活動について〉

- ・ 第3期になり、情報を相互に提供すること、各団体に話し合いの場を持ちたいなど、具体的な連携に向けて進みつつあると思う
- ・ 市民と行政が同じ立場で野川と関わっていくことが、より良い野川にするための第一歩であると思う

〈研究機関に要望したい研究テーマについて〉

- ・ 個々の湧水の湧出量を復活させて、野川の湧水源をたくさん確保したい
- ・ 野川の水収支をはっきりさせてもらいたい

〈野川ルールの普及方法について〉

- ・ 流連委員が普段の活動やイベントを活用して、資料を配付して、説明するところからまずは進めていきたい
- ・ ルールだけでなく、野川の水涸れ状況などについても伝えていければ良い

〈野川の一斉清掃の実施について〉

- ・ 一斉清掃は年2回が望ましく、3月と11月の土曜日に実施したい
- ・ 具体的な課題（募集方法、集合場所、ゴミ、フェンス等）については、今後議論を進めていきたい

■ 報告事項・今後の予定

- ・ 野川自然再生協議会の状況について
- ・ 国分寺崖線保全フォーラムの報告
- ・ 小金井市環境フォーラムの報告
- ・ 東京源流展の開催案内
- ・ 平成18年度野川における主な工事状況について

■ 前座長からの意見

野川流域の水循環、水収支、納得流量などの検討課題について、研究機関と連携して進める方法、流域連絡会が主体となって調査・研究を進める方法、2つの面からアプローチしていくことが重要であると感じました。

■ 第3回野川流域連絡会は平成19年6月に開催予定です。